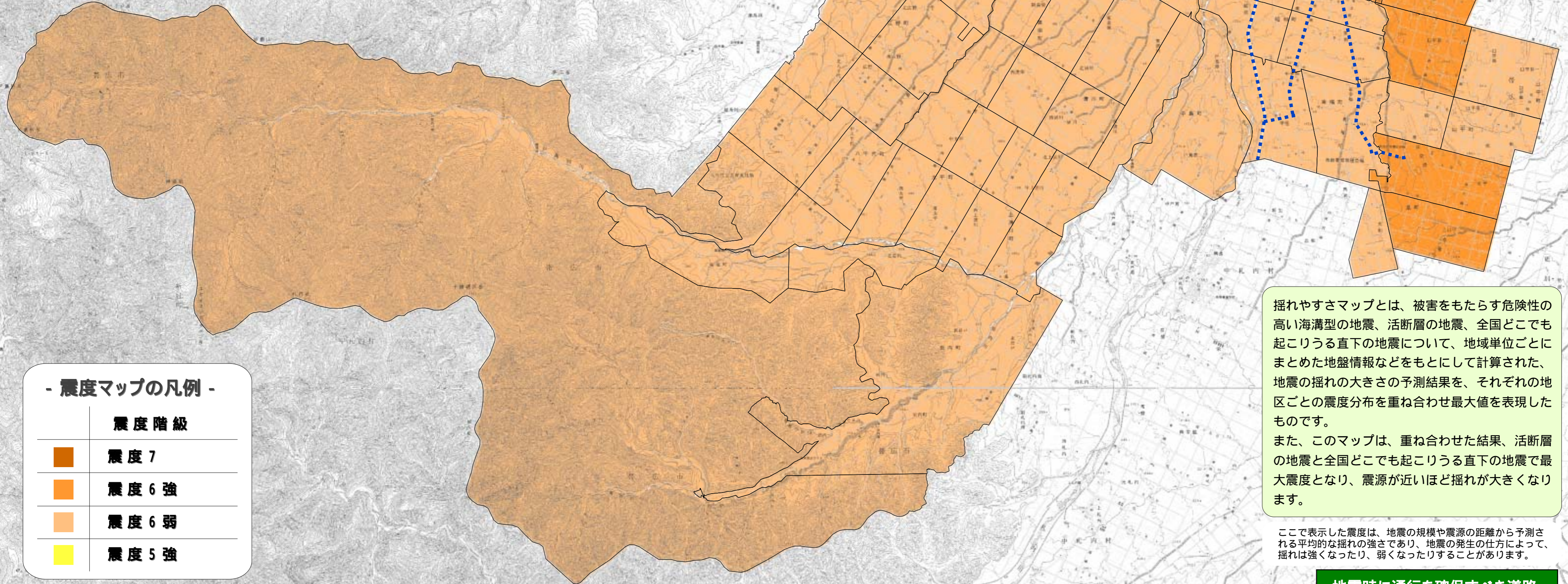


揺れやすさマップ【農村部】



- 震度マップの凡例 -

震度階級	
	震度 7
	震度 6 強
	震度 6 弱
	震度 5 強

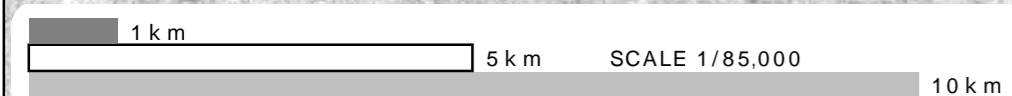
揺れやすさマップとは、被害をもたらす危険性の高い海溝型の地震、活断層の地震、全国どこでも起こりうる直下の地震について、地域単位ごとにまとめた地盤情報などをもとにして計算された、地震の揺れの大きさの予測結果を、それぞれの地区ごとの震度分布を重ね合わせ最大値を表現したものです。

また、このマップは、重ね合わせた結果、活断層の地震と全国どこでも起こりうる直下の地震で最大震度となり、震源が近いほど揺れが大きくなります。

ここで表示した震度は、地震の規模や震源の距離から予測される平均的な揺れの強さであり、地震の発生仕方によって、揺れは強くなったり、弱くなったりすることがあります。

地震時に通行を確保すべき道路

	特に重要な地震時に通行を確保すべき道路
	地震時に通行を確保すべき道路



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平19総復、第717号）」